

「ワーケーション×社会課題解決」  
株式会社ニットの取り組み



# 当社の想いと取り組み



新型コロナウイルスの影響で、旅行業界に関わる皆様への打撃が大きなものだと感じております。我々ニットは、これまでフルリモートを前提とした事業運営を行ってきました。だからこそ、国が推進されるワーケーションを会社として取り組み、また【雇用】に関する社会課題の解決を通じて、地方創生へも貢献していきたいと考えております。

「ワーケーション×社会課題解決」として、当社代表の秋沢をプロジェクトオーナーとして、現地の自治体様と協力しながら、雇用の創出・テレワークの導入支援などを実施します。

- ・ 対企業：テレワークで人手不足を解消出来る支援
- ・ 対働き手：テレワークで雇用の機会を創出
- ・ 対自治体：土地のブランディングアップへ貢献

加えて、バケーションも実践します。是非、取材をいただけますと幸いです。

# 取り組みの概要

現在日本全国、世界33カ国に在住の400名のリモートワーカーが在籍しているニットがこれまでのリモートワークの知見を活かし、この事業に貢献できないかと考え参加を決めました。

## おためし

長野県でITやってみませんか？

## ナガノ

### ▽長野県

#### ・「おためしナガノ」とは？

長野県主催の移住促進事業として、地方で事業実施を考えているクリエイティブ人材・企業に仕事の場所（コワーキングスペース等）・諸費用を一定額補助することにより、長野県内での仕事をする「おためし」の機会を提供するもの。

今年度で6期目となり、今年は応募者から選ばれた12組22名の参加が決定しています。

#### ◆参加期間

令和2年10月1日～令和3年2月28日

\* 上記実施期間（5か月間）中に、

3か月以上、月平均おおむね6泊以上県内に住んで仕事をします。

# 訪問する地域のご紹介



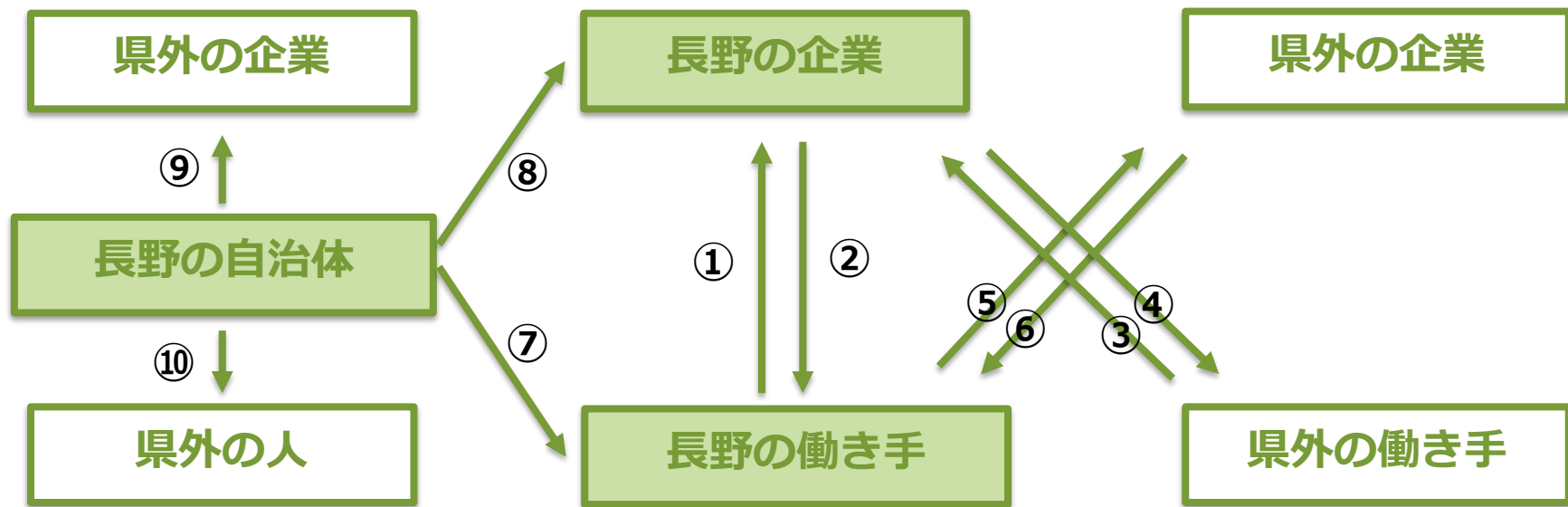
## 長野県：小布施



小布施は北信濃にあって千曲川東岸に広がる豊かな土地。江戸時代には、交通と経済の要所として栄えました。当時は定期的な市「六斎市」がたち、人、物、情報が集まる北信濃の文化的中核ゾーンでした。小林一茶や葛飾北斎も小布施の魅力に引き付けられた客人の一人。小布施と言えば栗。水はけの良い扇状地という地形と特徴ある酸性の土壌、そして北信濃の気候が、どこにも負けないおいしい栗を生み出しました。栗を生み出した土壌は果樹生産にも適しており、今ではリンゴや巨峰の産地としても注目されています。

参考：小布施日和  
<http://www.obusekanko.jp/knows>

# 取り組みの概要



# 取り組みの詳細

課題		解決策	
対企業	人手不足	①③	オンラインでの人材供給
	テレワークマネジメント知識なし (=事業存続の危機)	⑧	テレワークマネジメント研修の実施
対働き手	雇用先が無い	②⑥	仕事の創出
	テレワークスキルなし・浅い	⑦	テレワークスキルアップ研修の実施
	孤独 (= 県外流出の危機)	⑦	他地域との繋がり創出
対自治体	企業誘致	⑨	魅力のPR (コワーキング、ネット環境など)
	移住者誘致	⑩	魅力のPR (ワーケーション風景、自然との共存、現地の様子など)

# 2/20-28スケジュール

- 現地で変わらずテレワーク
- 未来ディスカッション
- 現地への貢献/交流
- バーケーション

	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日
エリア	野尻湖	野尻湖	小布施	伊那	小布施	小布施	小布施→佐久	白馬	白馬
7:00		ワカサギ釣り (おためしナガノのメンバーと交流)					散歩		スノボ
8:00							散歩	散歩	
9:00				移動	散歩	散歩	通常仕事	散歩	
10:00				通常仕事	通常仕事	通常仕事	通常仕事	移動	
11:00				長野在住メンバーと会ってランチ		テキストコミュニケーションセミナー	キャリアと個人ブランディングセミナー		
12:00							小布施名物モンブラン		
13:00			小布施観光			通常仕事	移動	他メンバー合流して、スノボ	
14:00			伊那食品工業の社長対談	未来ディスカッション	宮城県と繋いでテレワーク研修				
15:00						ボードゲームで相互理解	事業会議		
16:00	東京→長野へ移動	移動	通常仕事	かんてんパパガーデンで工場見学	通常仕事	雑談	サウナ&焚き火で社長対談		長野→東京へ移動
17:00		温泉	温泉	移動		通常仕事		ラム肉	
18:00		中華(ワカサギ料理)	鶏肉	廃校コワーキング訪問	温泉	温泉		温泉	
19:00				イタリアン	信州そば	地元焼肉	現地の方々のご飯	未来への構想会議	

# 長野の風景 2/20-28

## 2/21ワカサギ釣り



## 2/22-26 小布施コワーキング



## 2/23伊那在住メンバーと ランチ&未来ディスカッション



オンラインは【非連続】

◎オンライン→ チャットやzoom。繋がりが分断される（その良さもあるが）

◎オフライン→態度、表情、匂い、熱などのノンバーバルな会話が成立。例えば5時間、連続的に一緒にいることでポロッと出た何気ない言葉や共通言語が生まれたりして、驚く程の化学反応が起こり得る



# 長野の風景 2/20-28

## 2/22伊那食品工業の会長・社長と対談



- ・秋沢が伊那食品工業様の大ファン
- ・『年輪経営』は愛読書
- ・長野との縁があったことで、対談の機会創出
- ・本来であれば、直接お会いする予定ではあったが、コロナ影響でオンラインで実施

## 2/23かんでんぱぱガーデンへ訪問

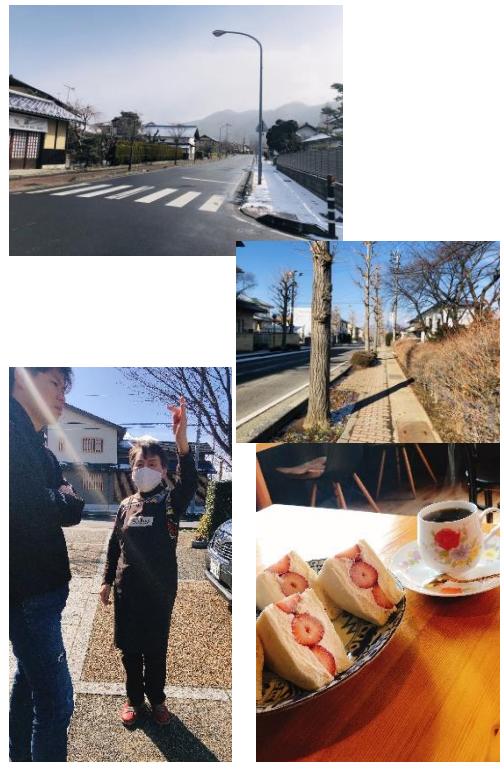


# 長野の風景 2/20-28

2/23廃校になった校舎をリノベーションした  
コワーキングオフィスの訪問



2/24-27朝の散歩



2/22-26小布施の食べ物



# 長野の風景

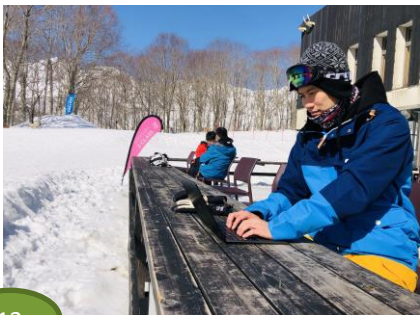
2/20-28

2/26サウナ&焚火で社長対談\_はたらクリエイト様へ訪問（オフィスにサウナがある企業！）



# 長野の風景 2/20-28

2/27-28でスノボ&雪山ワーケーション 2名のメンバーが合流！



# 長野の風景

※こちらは10月に撮影した写真



# ワーケーションツイート（長野の風景）

小澤美佳 | knit広報 | 活き活きとした組織創り  
@mica823

今日から、長野です！

「ワーケーション×社会課題解決」  
に向けて、頑張ってきます！  
行ってきますー！

栗が楽しみです🍎🍓



午前10:04 · 2020年10月19日 · Twitter for iPhone

ツイートアクティビティを表示

1件のリツイート 200件のいいね

小澤美佳 | knit広報 | 活き活きとした組織創り  
@mica823

長野でワーケーションをやってみて、  
旅をすることって素晴らしいなど  
改めてヒシヒシと感じます。

触れられるから得られるものがある。  
触れないと感じられないものがある。

だから、やっぱりリアルも大事よね🍓

午後9:51 · 2020年10月20日 · Twitter for iPhone

ツイートアクティビティを表示

1件のリツイート 251件のいいね

ちろ@二代目社長 @chiro\_t2 · 10月20日  
返信先: @mica823さん

旅する発見、うらやましい🌟

ワーケーションって実際やってみてどうですか？ワークもちゃんと充実するものなんでしょうか？

自分だとバケーションばかりきなりそうなので、ぜひ体験者のご意見を聞いてみたいです！！

1 1

小澤美佳 | knit広報 | 活き活きとした組織創り @mica823 · 10月20日

今回は、社長も一緒に行っています！  
せっかく行くなら、バケーションもしたい！と思うと、ダラダラしない仕事スタイルになりますし、ただ遊ぶだけじゃなく、現地での社会課題解決もやりたい！と思った時に、現地の困っている人に触れて、よりエネルギー満ちますし、すごく価値があると思います🍎🍓

1 1

返信を表示

小澤美佳 | knit広報 | 活き活きとした組織創り  
@mica823

長野でワーケーション🍎

社長@akki\_lws  
コミュマネ@YukiNishideと  
ワーケーションを実践！  
おためしナガノに参画しています！

雇用の社会課題を解決すべく  
現地の人とコミュニケーション。

あとは、  
りんご、栗、日本酒、北斎...も堪能🍓

最後の写真は、カフェが見当たらずに  
温泉の広間で仕事👉w



午後7:32 · 2020年10月21日 · Twitter for iPhone

ツイートアクティビティを表示

2件のリツイート 5件の引用ツイート 121件のいいね

# 企業がワーケーションを実践する上でのポイント

ワーケーションにおいて大事なのは、ワーク時間の設計ワーケーションを実践するにあたって、企業としてテレワークを導入していることが前提にはなるが、ワーケーションを実施しようとする、どうしてもバケーションに目がいきがち。しかし、【社員旅行】ではなく、【企業ワーケーション】を実施しようとする場合、以下の3つのステップが遂行できる設計が重要。

## ◆3つのステップ

現地で通常通りのテレワーク

現地で対面でディスカッションやワークショップの機会創出

現地の企業・自治体と協力して、現地在住者の方向けの課題解決を実施

### 1. 現地で通常通りのテレワーク

→現地で通常通りのテレワークを実践できるように、コワーキングオフィスを準備したり、ホテルのWi-Fi環境や部屋の机や椅子が完備されているかを確認したりすることは重要である。

### 2. 現地で対面でディスカッションやワークショップの機会創出

→社員同士で数日間ともに過ごすならば、未来に向けたディスカッションや現状の課題を洗い出すなど、膝を突き合わせて本音で語り合えるような時間の設計も有効である。

### 3. 現地の企業・自治体と協力して、現地在住者の方向けの課題解決を実施

→現地を訪れるからこそ、現地の方々に触れて、社会課題を我が事で捉えられるような機会を創出することも、企業としては重要。また、ワーケーション中の一過性の取り組みではなく、持続的な社会課題解決への貢献こそが、企業がワーケーションに取り組む意味であるとも言える。

# 企業がワーケーションを取り組むメリット

## 企業：社員のエンゲージメント向上

多くの企業がテレワークが推進される中で、孤独の発生・繋がりが欠如している。それを、ワーケーションという形で、リアルで会って、現地で一緒に仕事をしながら、寝食を共にし、思い出作ること、共に働く人との繋がりを創出し、企業としての文化醸成に寄与することが可能である。

## 個人：有給を使わずにバケーション実施+孤独の解消

社員旅行ではなく、仕事の一環となるワーケーションを実践することで、仕事をしながらリラックスができたり、同じものを共有すること（景色、食べ物…など）で、仲間意識が醸成されて、日常のパフォーマンスにも良い影響を及ぼすことが可能となる。



# 秋沢のコメント



## ◆ワーケーションの効果は？

- ・【チーム】 仕事以外のコミュニケーションが生まれることによる信頼・エンゲージメントが上がった
- ・【チーム】 メンバーの意外な一面が見られることで、親密性が高まった
- ・【個人】 自然の中で仕事をすることで生産性が上がった

人間は、環境に左右される生き物。朝、散歩して、仕事して、ちょっと外に出て…と自然と触れることの大切さを実感。

## ◆今後の可能性

- ・今後の時代は、テレワークの概念が広がり、ハイブリッドになる。そうなると会話が業務中心になる  
あえて、話をとる時間、遊びをとる時間が大事。その後の生産性に関わる

## ◆長野である理由

- ・温泉、ウィンタースポーツとか、普段とは違った楽しみが可能
- ・東京から近い。長野まで最短1時間20分

## ◆長野への貢献は？

- ・おためしナガノで長野へ訪問しており、その繋がりを通じて、現地の同業他社さんとの繋がりを創出し、ノウハウ提供へ
- ・後日、3社での交流会を実施
- ・また、長野との取り組み自体を発信することで、長野全体のワーケーションニーズ創出へ貢献

## ◆企業ワーケーションの大事なポイント

- ・小さな単位（少人数）でのワーケーションをやった方がいい、チームの中での相互理解向上
- ・場所→場所に柔軟な体制
- ・時間→仕事に支障のない範囲で、寛容なスケジュール
- ・費用→年に何回で上限の金額を決めて、報告をさせる。やりっぱなしにさせない



# ニットの 企業ワーケーション事例

# ニットのワーケーション実績

## ▽沖縄県



- ◆対象地域：沖縄県久米島
- ◆ワーケーション期間：10-31-11/8
- ◆取り組み内容：沖縄県の雇用課題解決への貢献  
・テレワークの育成支援（予定）
- ◆協働事業者：  
株式会社ブルー・オーシャン沖縄  
地方創生をICTで支え続けるコンサルティングファーム  
企業HP：<https://boo-oki.com/>

沖縄県の「離島テレワーク人材育成補助事業」が久米島町で開始。小規模離島を含む複数の離島において広域的な支援体制を構築し、テレワーカーの人材育成、テレワーク業務の受注・割り振り、就業支援などを実施する事業者へ助成を行うことにより、島外から仕事を取り込める環境を整備・加速化することを目的としています。

## 沖縄県：久米島

平成8年に「日本の渚百選」に選ばれた「イーフビーチ」があり、東洋一といわれるサンゴでできた真っ白な砂とコバルトブルーだけの砂州・「ハテの浜」と美しい海浜地帯があります。ダイビングは数多い熱帯魚だけでなくジンベイザメ・イルカ・マンタ・ハンマーヘッドシャークなど、ダイバーをわくわくさせています。島を訪れます。これも又、久米島の豊かな自然の恵みと言えます。海ぶどうや車えびなどの海産物も豊富で舌鼓みできる環境です。



# 沖縄の風景



# 沖縄・久米島のワーケーション実施レポート

## 離島のテレワーカーの状況

- ・テレワークを通じた仕事の機会を既に実践されている方もいらっしゃる事が判明
- ・テレワーク研修には、沖縄離島40のうちの様々な島民が参加いただき、関心度の高さを認識
- ・現地の方の共通する悩みの理解（孤独、スキルアップ機会の欠如、時間の使い方ノウハウの欠如、他人との距離感への戸惑い、仕事創出機会の欠如など）

## 久米島でのワーケーションの可能性

- ・現地の方と触れ合うことで、今まで情報として聞いていたことがリアルに体感
- ・暖かい気候なので、柔軟な発想が生まれやすいことを実感
- ・知らない土地がゆえに、ワクワク感や高揚感が高まり、色んな発想が生まれる感覚の醸成
- ・ワークとバケーションが入り混じることで、リフレッシュ&リラックス
- ・メンバー間の本音が出てきやすくなり、親密性が高くなって、強固なチームワークの形成
- ・寝食を共にすることで、共通の思い出ができて、将来的な関係性構築

# 代表秋沢のコメント



## 沖縄・久米島でワーケーションを実施した感想

今回、貴重な縁をいただけて、久米島でワーケーションを実施したことで、ニュースなどで見聞きしていたエリア特有の課題や雇用の問題などをリアルに感じることができ、「ニットとしてどんな貢献ができるか」ということをメンバーとともに、喧々諤々と議論をすることが出来ました。人口減少、若者の県外流出、情報の地域格差など、今回、久米島で感じられた感覚というのは、日本の様々な場所でも発生していることなのだろうと思います。ニットはこれまで5年に渡って、【テレワーク】という働き方を実践し、またそのテレワーク・在宅ワークだとしても、孤独になることなく、繋がりを感じられるような仕組みやコミュニティを開発してきました。奇しくも、コロナによって、テレワークという働き方が浸透してきたからこそ、エリアの企業様・働き手の皆様にとっても、この概念が広がり、現地の方々が生活力を付けていただけるようなことに、今後も貢献できればと考えています。

## 企業のワーケーションへの兆しと課題

国も力を入れている【ワーケーション】を企業として取り組むことにチャレンジしてみた結果、ワークとライフを上手く融合させる働き方が自分の人生を充実させることにも繋がる、ということに改めて実感しました。企業として、ワーケーションを実施することに踏み切るのは、まだ容易ではないかもしれません。しかし、「社員旅行」ではなく、「企業ワーケーション」という考え方にシフトすることで、メンバーと未来へのディスカッションや普段出来ないようなコミュニケーション、またバケーションを通じて人生がより豊かになる体験を実践できることで、エンゲージメントが高くなると思います。私自身、今回、沖縄でダイビングのライセンスを取得し、それによって自分の趣味がまた一つ増えました。企業は、今後、こういった働き方・生き方を支援していくことが、社員のエンゲージメントを高めていく上で、重要な機会となり得るのではないのでしょうか？





Thank you



**knit**